

こんにちは 日本共産党福生市議会議員

池田公三 さん です

No. 37 2013. 9. 28
事務所 志茂 115 アイエスマンション101号
電話 042-530-0705
ホームページ 池田公三 検索
なんでも相談 第1火曜 午後7時



9月福生市議会での私の取り組みを報告します。詳しくは、日本共産党福生市議団ニュース（後日発行）をご覧ください。

一般質問

私は福生市政の重要な争点になっている3つの点について質問しました。

国保税値上げは生活苦・滞納増に

福生市は、今年4月から国民健康保険税を値上げしました。国民健康保険の加入者は、年間所得200万円以下世帯が20%、100万円以下世帯が62%、あわせて82%と、大部分が低所得層です。年10万円を超える国保税は重い負担になっています。私は、平成22年度の値上げの時も滞納が増え、税収は増えなかった事実を示し、今年度の値上げも、生活苦、滞納増、再値上げという悪循環になってしまう可能性を指摘しました。

「払いたくても払えない人」をなくすためには、一般会計からの繰入金を増やし、低所得世帯の国民健康保険税を引き下げること



です。そのことが滞納者を減らし、税収増にもつながると思います。何よりも、病気になっても医者にかかれない無保険者を増やさずすみませう。

そして、国保会計赤字の根本原因が、国が負担割合を64%（1979年）から引き下げ、ついに25%（2007年）にまで減らしてしまっただけであることを認め、市として厳しく国庫負担増を求めていくことが大切です。

生活保護基準引き下げの影響は市民全体に

国の生活保護基準引き下げを受けて、福生市も8月から保護費の引き下げを実施しました。「これ以上どこを節約すればいいのでしょうか?」と、悲鳴のような声が寄せられています。日本は長年の悪政の結果、ばく大な富が一部の層に集中し、多数の国民には貧困が広がりました。国民の生活水準が下がったので、生活保護受給者も生活をレベルダウンさせるというものです。下がった方を上げるのが政治の責任なのに、全く無責任です。

生活保護基準は、3年連続で引き下げられ、福生市の54施策の基準にもなっています。市民全体に影響があるのです。私は、悪政から市民を守る防波堤としての役割を福生市政が果たすことを求めました。残念ながら、前向きな回答はありませんでした。

中学校給食で食育の強化を

私が議員になって以来、毎議会で要求してきた中学校給食実施について、ようやく検討を開始することが決まりました。各種の調査から、福生の子どもたち、特に中学生の食生活に課題があることが指摘されています。その意味で、食育教育の強化が必要ですが、その取り組みにおいて中心的な指導の場となるのが学校給食です。この点を踏まえて、検討を進めることを確認しました。

日本共産党福生市委員会は池田公三さんの活動について発表しました

福生民報

発行 2013年 9月
日本共産党福生市委員会
責任者 松山 清
福生市熊川 689-18